

第2期「国富町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に向けた考え方 (2020~2024年度)

国

第1期での地方創生について、「継続を力」にし、より一層充実・強化。「長期ビジョン」の下に、「総合戦略」を実行する現行の枠組みを維持。
(まち・ひと・しごと創生基本方針2019)
※2019.6 基本方針策定、2020.12 総合戦略を策定(改訂)予定

長期ビジョン：2060年までの中長期的展望（約1億人を維持）
現在の人口等の見直しは、第1期の当初推計と大きな乖離なし。時点修正などの変更にとどめる予定。

総合戦略：2020~2024年度（5年間）の基本目標や施策

<4つの基本目標>

- ① 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
- ② 地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

◆従来の枠組を維持

- ◆必要な強化
 - ② 地方への新しいひとの流れをつくる
 - ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

◆新たな視点

- ・地方へのひと・資金の流れを強化する「関係人口」の創出・拡大 など
- ・新しい時代の流れを力にする Society5.0、SDGs など
- ・人材を育て活かす
- ・民間と協働する
- ・誰もが活躍できる地域社会をつくる
- ・地域経営の視点で取り組む

<地方創生版・三本の矢（地方創生に向けた多様な支援）>

- ①情報支援（地域経済分析システムなど）
- ②人材支援（地方創生人材支援制度など）
- ③財政支援（地方創生関係交付金など）

◆従来の枠組を維持

◆地方創生関係交付金の必要な見直し

<「地方版総合戦略」の策定にあたって>

- ・策定プロセス等の重要性（地域の特性、多様な主体の参画など）
- ・行政区域を越えた広域的な連携を考慮
- ・効果検証の重要性（現行の進捗をKPIの達成度などにより検証）
- ・手引きの活用 など

国富町

(国富町まち・ひと・しごと創生総合戦略)

「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」を踏まえ、地方創生の実現に向け、引き続き、切れ目ない取組を推進。

第1期計画の枠組みを基本とし、必要な改訂を行うイメージ。

人口ビジョン：将来推計人口や目指すべき方向性

2015年に国から配付された将来人口推計ツール（2015年国勢調査を基礎）を活用し、2018年10月1日現在の現住人口を基準とした将来推計人口を採用。

総合戦略：2020~2024年度（5年間）の基本目標や施策

<基本方針>

「安心・安全な暮らしを実現し、町民みんなが元気なまち」～「ひと」に優しく、「笑顔」と「癒し」のある『豊かな地域社会』の実現を目指して～

<基本的な考え方>

- ・国富町の現状と課題を踏まえた新たな視点での若者定住化、少子高齢化対策、産業の進行を図る。
- ・人口減少と地域経済縮小の克服
- ・まち・ひと・しごとの好循環の確立など

現行の考え方を維持しつつ、国の新たな視点などを踏まえ、見直しを行う。

- ・「SDGs」の推進
- ・「関係人口」の創出・拡大
- ・「Society5.0」に向けた技術の活用
- ・民間と協働する など

<体系>

- ・4つの基本目標
 - I 良好な生活機能確保する
 - II 良好な就業環境を確保する
 - III 魅力ある価値を創造する
 - IV 社会基盤の確保

現行の体系を維持。

- ・7つの重点項目
 - 1 子育て支援の充実
 - 2 医療・福祉の充実
 - 3 居住環境の充実
 - 4 人材の育成
 - 5 雇用の場の創出
 - 6 ブランド力の向上
 - 7 地域公共交通網の構築とインフラの維持・整備

個別施策について、
・国の新たな視点等を踏まえた基本的な考え方
・第1期計画の評価・検証などを踏まえ、見直しを検討。

- ・3.7の主要施策

※「みやざき共創都市圏ビジョン」との一体的な推進が前提。

みやざき共創都市圏

